

## 監督・選手注意事項

### 1. 規則について

本大会は、2013年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

### 2. 競技場について

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を厳守されたい。

### 3. 練習について

跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできない。混成競技のフィールド種目については、競技開始の30分前から練習できる。

相模原麻溝公園競技場については競技運営に支障をきたさない限り、本トラックを一部、開放する。ただし、役員の指示に従って行うものとする。三ツ沢競技場での練習は、補助競技場を使用する。

### 4. 招集について

招集所は100mスタート地点後方に設ける。

招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	種 目	ラウンド	組	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	100m、200m、400m、800m 100mH、110mH、400mH	予選	1～3	35分前	20分前
			4～7	25分前	10分前
		準決勝、決勝		30分前	15分前
	4×100mR、4×400mR	予選、決勝		競技開始時刻80分前までにオーダー用紙を提出する。それをもって招集とする。	
	1500m、3000mSC	予選	1～2	40分前	25分前
			3～4	25分前	10分前
	決勝		40分前	25分前	
	3000m、5000m 5000mW	予選、決勝		50分前	20分前
フィールド競技	走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投 男ハンマー投、やり投			75分前	60分前
	女棒高跳、女ハンマー			60分前	45分前
	走高跳、男棒高跳			105分前	90分前

混成競技の招集開始時刻及び招集完了時刻は、1日目及び2日目の最初の競技については、つぎの時間に招集所で行う。ただし、2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技10分前、フィールド競技10分前に競技場で行う。

混成控所については、当日混成競技係より指示する。トラック競技の腰ナンバー標識は混成競技係より受け取る。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
混成1種目目(トラック)	35分前	20分前
混成1種目目(フィールド)	45分前	30分前

招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。

招集所では、招集時間内にチェックを受け、ナンバーカードとユニフォームの点検も受ける。その後、競技開始場所に移動し、競技役員の指示に従う。フィールド競技においては、「3.練習について」を参照すること。

招集は本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。これを怠った者は棄権とみなす。

5. ナンバーカードについて

ナンバーカードを胸と背につけること。ただし、跳躍種目参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。

トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、ランニングパンツ右側後方につける。

3,000m、5,000m、3,000mSC 及び 5,000mW については、特別ナンバーカードを胸と背につけること。

(招集時間内に選手招集所で配布するので、招集時に受け取ること。その際に、正規ナンバーカードを持参すること。)

混成競技の最終種目においては、胸に現在の順位、腰にレーン番号、背中にナンバーカードを使用する。

**4 × 400mR の2～4走者は、招集所で配付する腰ナンバー標識を左右の腰につける。**

6. トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順について

トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

トラック競技の準決勝・決勝の組・走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。

7. リレー競技について

オーダー用紙は招集所にて配布する。出場選手4名で決められた時間に提出すること。

リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一したものを着用すること。

8. 写真判定・電気計時について

トラック競技においては写真判定を採用する。

9. トラック競技の準決勝、決勝進出について

800m までの種目及びリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時 2 / 1000)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者又は代理人によって抽選する。

10. 競技方法について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は最後の一人になり優勝者が決定するまで以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)

1位・シード権(8人)及び関東選抜出場(6人)を決定するためのバーの上げ・下げは走高跳では2cm棒高跳では5cmとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
男子走高跳	1m70～	1m75	1m80	1m85	1m90	1m94	1m98	2m01	2cm
男子混成	1m40～	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	3cm
女子走高跳	1m40～	1m45	1m50	1m54	1m58	1m61	1m64	1m67	2cm
女子混成	1m15～	1m20	1m23	1m26	1m29	1m32	1m35	1m38	3cm
男子棒高跳	3m00～	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	10cm
女子棒高跳	2m20～	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	10cm

投てき種目の計測ラインは以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	10m00	27m00	20m00	41m00
女子	8m00	20m00	全て	25m00

男子走幅跳・女子走幅跳・男子三段跳・女子三段跳は A ピット(スタンド側)、B ピット(トラック側)で行い、トップ8は A ピットで行う。

**男三段跳は12mピット、女三段跳は9mピットを使用します。**

男子 5000m、男子 5000mW、女子 3000m のスタートは2グループに分けて行う。

競技運営上男子 5000m は 20 分・女子 3000m は 15 分・男子 5000mW は 30 分・女子 5000mW は 35 分で競技を中止する。

但し、入賞者が確定していない場合はこの限りではない。

11. 用具について

投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。ただし承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。

(投てき用具は検査時間内に器具庫内(前)で公式計測員の検査を受ける。検査時間については競技日程下段を参照のこと。)

なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

## 12. 入賞及び得点について

入賞は8位までとする。

得点は各種目1位8点、2位7点、……、8位1点とする。

合計得点(女棒高跳・女ハンマー投を除く)により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

## 13. 表彰について

各種目8位まで賞状を授与する。

各種目3位まで入賞した者は、競技終了後直ちに表彰を行うので、本部前に集合待機すること。

なお、4位以降は表彰係までに賞状を取りに来ること。

学校別表彰は、男女とも8位まで閉会式において表彰する。

## 14. 抗議について

競技規則 146 条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(予選は正式アナウンス後 15 分以内、決勝は 30 分以内)

## 15. 棄権について

各種目にやむをえず棄権をする者は、招集完了時刻までに招集所競技者係に申し出ること。

## 16. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むこともできない(競技規則第144条)ので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

## 17. その他

競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。

プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。

参加各校の補助員(1名以上)は、競技開始1時間前までに本部に集合のこと。

指定区域以外シート・テントを張ることは禁止する。各校の横断幕、のぼり等も各競技場の指定された場所以外には張らないこと。応援席にテーピング・ガムテープ等を張らないこと。

応援は、スタンド席で行う。役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。**フィールド等の集団の応援は慎むこと**

大会中は競技マナーを守り、貴重品の管理にも留意すること。

本大会決勝でトラック種目(リレー種目を除く)・混成競技は8位まで、フィールド種目は(女子三段跳・オープン種目を除く)上位8名までに入賞した者は、その種目に限り平成26年度(第52回)神奈川県高等学校総合体育大会への地区予選通過の権利を得たものとする。ただし、地区予選会への申し込みはするものとし、1種目1校3名以内、同一人3種目以内(リレーを除く)の出場制限は従来通りとする。来年度総体・地区予選会に本大会入賞種目を申し込まなかった時、また申し込んで出場した場合は地区予選会通過の権利は失効したものとする。

決勝進出者(男子5,000m、男子5,000mW、女子3,000m、女子5,000mWは上位15位まで)は、競技終了後、**関東選抜新人大会出場確認用紙・冬季強化事業参加確認用紙を受け取り、1時間以内に本部に提出すること。**

(ア) 本大会の成績をもとに10月19日～10月20日に相模原麻溝公園競技場で行われる関東選抜新人大会に各種目3名フィールドは6名(リレーは3チーム)を推薦する。(混成競技・オープン種目は除く。)

(イ) 関東選抜大会申し込みは、9月27日(金)横浜平沼高校で行う。

競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。閉門時間は17時00分予定。

ゴミは持ち帰りを原則とします。

**各校で貴重品の管理を徹底すること。**